

Ryukyu robin / *Erithacus komadori* / Akahige / アカヒゲ

アカヒゲは体長約 14 cmの小型の鳥で、大きな旋律的な声で鳴く。固有種で、大昔に大陸由来の鳥類から分岐し、奄美大島の広葉樹林に生息する。オスは頭部や背部、尾部、上翼面は鮮やかなオレンジ味のある赤で、胸と横は黒く、腹の羽衣は白く、地味なメスに比べるとカラフルなのが特徴である。オスの力強い鳴き声は、縄張りを強調し、求愛のために発する。アカヒゲの長い脚は林床で昆虫や幼虫などの餌を楽に探すことができる。1970年に国の天然記念物に指定され、絶滅危惧種とされている。